

『令和7年度 議会報告会のとりまとめ』
東部地区



令和8年2月開催

鹿 島 市 議 会

令和7年度 議会報告会質問等とりまとめ (東部地区)

令和8年2月12日 18:30
～19:55 七浦公民館

出席議員

樋口議員・釘尾議員・池田議員・中村一堯議員・伊東議員・福井議員・中村副議長

【一部：肥前鹿島駅周辺整備事業について説明】

〔説明者〕伊東 茂 地域交通まちづくり特別委員会委員長

発言者（市民）	質問・意見・要望等の詳細
答弁の議員名	議員の答弁内容
七浦 参加者	<p>一番に思うのはね。鹿島市民が七浦の者もここに足を伸ばしたくなる。またここで買い物をしたくなる。またここで休憩をして、うちは全部見たくなる。また子供たちを送迎するときに車もちゃんと駐車できる。七浦から送迎が多くて、そういうとき駐車場あるの？利便性を、ってなったら、もっと駅前を、吉牟田建材店のあっちの方をもっと買収して、もっと広くするように、スペース的に考えていかない。</p> <p>本当に市民が楽しめる。ほいで、ここを散策できるスロートーリズムか。よそからの人が楽しむより、まず鹿島市民が楽しんで。子供たちもお年寄りも、1日1回ぐらい行きたいな、というようなのがさ。もっとやっぱ鹿島市民がさ、納得するような。まして、我々七浦はさ、第1産業は山海なんよね、そういうものをさ、こういうところで提供できるのか。それはもちろん町の商品もね、もちろんだし、並べてもらわんといかんけど、やっぱり市民がね、ここでやっぱり、くつろいだりっていうようなのがね、僕は前提と思うんだよな。</p> <p>都会から（観光で）ここまで寄るのにさ、そういうルートはさ、どっか観光協会内とか旅行会社に頼むの？そうじゃないでしょ。やっぱり自然体の中で鹿島（駅）に来て楽しんだら、また行く。そしたら、ここ（鹿島駅）からチャリンコを借りてから、七浦とか祐徳院とか、ね、いろんなところに楽しみに行く、そういうところをさ、決めていかんとさ。あれは鹿島の町の中の問題と七浦の者が思ったらいかんと思うわけよね。僕らは、できたら毎日行きたいと思いますよ。行くくようにしたいと思います。</p> <p>そういうことをもう少しね。いそがんでいいから、もう少し市民の皆さんに理解してもらって、協力してもらえるような体制でやっていただきたいと個人的に思います。</p>
議員	<p>ありがとうございます。今、おっしゃったように、私達も議会の中で、相当執行部にはお話をしたんですよ。おっしゃる通り、本当に今、鹿島市にこれが必要なのかと県の方が45億出すと言っても、結局、鹿島市も8億2000万出すんですね。そういう中で、これが本当に必要なのかっていう話をしました。</p> <p>それと、一番最初に言われた、これが出来上がったら、今よりも駐車場の駐車台数は減るんですよ。そこも、おかしいというふうに私達、議員は話をしたんですね。私達の議員の方にも新聞に報道があってから議員に報告があるみたいなやり方がちょっとおかしいんじゃないかっていうことは、議員からも、執行部には言ったんですよ。県が45億出すなんて、新聞で初めて私達も知ったんですよ。これはおかしいということで、何回となく、話しております。今、駐車場のところから少し工事が始まってますけど、やっぱり私達も</p>

	<p>今日皆さんからご意見を聞いた分は、議会の執行部との協議をする全員協議会の中でもですね、いろいろ話して行って、そういうご意見をいただいているということは伝えたいと思います。</p>
七浦 参加者	<p>(鹿島駅周辺整備事業のイメージ図は) もっと分かりやすいものを、市民に提示しなくっちゃいかんじゃないですか、イメージはしようとしても、なかなかね。今の駐車場、駐輪場には、いっぱい駐まっているし、今後も、まだ駐まってくるだろうし。</p> <p>今はともかく、スロートーリズムの玄関口にしたいというふうになれば、そしたら、高校生などが元々駐めている自転車で、いっぱいなのに、それから他にも行きたい観光客が(レンタサイクル等に)乗っていけるように(事業を)進めれば、十分駐車場・駐輪場があるかどうか、それからもう1つ、送り迎えするときに、駐車場が今のところどこになるのかなと思いがらね。(送迎車のスペースは)十分確保できるの？</p>
議員	<p>さっきご説明したように、駐車場はこっち(新駅舎と復元駅舎の間)の方にできるんですよ。今までお金を払う(市営)駐車場があったじゃないですか、ただ、これがさっきも言ったように、駐車台数が今よりも少なくなるから、おかしいって、私達も今言ってるんですよ。</p> <p>だからどういうふうになるか、そこを(民間の土地や駐車場)をお借りするようになるのかですね。だからこうやってから説明をしますけど、私達もまだ県から最終的に実施計画書っていうのが出てきてないからイメージ図しかわからないんですよ。</p>
七浦 参加者	<p>まず新駅舎っていうところ、その駅舎というのは、JRは関係無いの？</p>
議員	<p>・JRは、(肥前鹿島駅周辺整備事業に)お金を出さないんですよ。新幹線が開通するときですよ。上下分離方式っていうのを、決まったでしょ。この駅舎は県の持ち物になってるんですよ。だから県がお金を出すんですよ。</p> <p>基本的に利便性が低下しているのが、鹿島から太良に向けてなんですね。江北駅は、まだ特急が止まっていますよね。そこから鹿島、七浦、太良が、もう本当に利便性が低下しているから、これをその代替案じゃないけど、これをしましよみたいな、県の方から提案をいただいているんだろうとは思いますが。</p>
七浦 参加者	<p>まだ(特急の)便がまだ減ること？</p>
議員	<p>減ります。今度春から10本になりますね特急が。基本的には、うん。基本的にはゼロになるんですよ。いずれは。</p>
七浦 参加者	<p>だから、少なくなっており、その影響について言ったら？</p>
議員	<p>だから、そのあたりを私達議会でもいつも言ってるんですよ。</p>

七浦 参加者	<p>そしたらさ、代案だけども、もうね、もう JR とさ、じゃなくて島鉄（島原鉄道）を持ってきたら間違いなか。江北まで。もう江北までさ、島鉄で。島鉄はほんに、あいよって（便数がある）よ。もうね、開き直るじゃないけどさ、見捨てるような JR と付き合わんが、よかよ。やっぱり我々も生活してたもんで、観光客もやっぱり呼びたかとよ。そしたら 5 億までさ、島鉄にあんた陳情せんね。その方がましばん。JR はスパッと切った方が良く思うよ。お願いします。</p>
七浦 参加者	<p>ちょっと同じどうでしょう。これのか別な方向ですけど、スロートーリズムという話の延長線の話の中で太良町、各駅の近くに泊まる場所を設けたり駅舎を改修したりという話がありますけど、今聞いたら鹿島駅は県の（所有）で、JR じゃないって言ってたけど、例えば七浦とか多良とか駅がありますけど、あれは今もう県の管轄なんですか。</p>
議員	<p>いや、まだ完全にさっき言った上下分離ですね。上下分離で完全にはなっていないです。結局、JR の方が走ってますよね。普通電車の代わりにディーゼルになりましたよね。今のところはまだその、鹿島だったら、鹿島が管理するっていうことですよ。JR も今のところはもちろんですよ。元々は JR だけど、今管理しているのは鹿島市その自分の自治体が、今は管理をしています。</p> <p>さっきも言ったように、最終的に特急がゼロになった場合、それこそ島鉄じゃないですけど、私達ももう 10 年以上前から、もしゼロになった場合のために、いろんなところに視察に行ってるんですね。もう新幹線が通って並行在来線と言われるところがどれだけ寂れていくのか、それも見て聞いてます。</p> <p>ですので、観光列車を自分たちで運営運行していくとか、いろんなことも、私達も勉強はしています。だから、それがどうなるかわからんけど私達議会としても市としても、まず特急の本数が減っていくんですけど、やっぱり特急がないと。やっぱりどうしても観光客も激減するだろうなど、いう感じはやっぱりするんですね。そういうふうになるから、今回のこのこういうふうなプロジェクトっていうか、これがそのスロートーリズムみたいなことをおっしゃってるけど、本当にそうなのか私達もちょっとわからないんですよ。だから、さっきおっしゃった、今日ご意見を聞いた部分を、また議会で本会議場で執行部にぶつけてですね、いやもうこれはもう 1 回、考えるべきではないかっていうことも言わんといかんかなと。</p>
七浦 参加者	<p>そうだよ。通過までの通勤はね、JR でどこも出てるよね。通勤電車としてはね、やっぱり、それで、たまに家族は家族も福岡行ったり大阪行ったりしてますけど、ほとんどね、もう江北から乗るんです。儲からない。こういう不便だったら。そういう体制でいいのかなと。</p> <p>もう少しだから高校まで行く便がさ、増えたらよ。鹿島から乗るやつ。もう我々の時代は、子の代、孫の代になったらさ、もう列車は江北から、武雄からってなってしまうんじゃないかね。我々の駅は見捨てられてしまうんじゃないかね。そういうのさ、街でいいのかな？だから僕は開き直ったような言い方でしたけど、島鉄ともってくればいいと。江北までいけば、新幹線もあるし、面白いもあるしさ。完全にそしたらもうゼロになしてくれと、もう JR さんと付き合わんでいいと、島鉄がありますよと。第 3 セクターで会社作っ</p>

	<p>でもいいじゃないですか。立派な祐徳自動車がおられるので。</p>
議員	<p>私も、なんて答えていいかわからないんですけど。はい。いや、それこそさっきも言ったように、もう議員も、もう半分以上の議員がそういうふうに執行部には意見を言ってるんですよ。それは議会を見ていただいたらわかると思うんですけど。</p>
七浦 参加者	<p>今のそのスローツーリズムの構想の中でいろいろも特に県の出先が鹿島に向けて動いてくれておりますよね。その割には、電車が来なくなるとか。駅舎が残っても電車が来ないみたいな話になりよるけんですね。</p> <p>なんか大丈夫なのかなとちょっと心配になる。特に今回のそういうツーリズムの延長線では、やっぱり鹿島にいる元々の若い人とか、よそから来て頑張っている人たちがいろんなアイデアを出して、交流とか宿泊という形ですね、頑張ろうとしております。そういう意味では、もうちょっと、いや、10年後はこんなふうになるよ。大丈夫。みたいな、ちょっと絵が欲しいというか計画が欲しいですね。</p>
議員	<p>おっしゃる通りだろうと思います。先ほどから言ってるように私達議員も危惧してるんですよ。5年後10年後どうなるのか、そういうそのために今、有明沿岸道路。これを何とかしても鹿島まで延伸をしなければならない。早期にですね、今福富までですよ。まずそれをしないといけないかなと思っています。</p> <p>そして、その次に498号線武雄まで、前もお話は出てたと思います。これを、高規格道路をつくるという古川知事のときにこれに賛成をしてくれたら、高規格道路を作るっていう交換条件を渡されて鹿島市はそれを断ってますよね。しかし将来的にはやっぱり武雄のインターまで、こちらから20分程度で行けるような、信号機がない高規格道路はやっぱり必要かなということで、その二つを、鹿島市としても、今一生懸命国土交通省であったり、それとか県とか、そういうふうなところに市長を初め、うちの議長も促進期成会の方でお願いはしているところです。</p>
議員	<p>肥前鹿島駅ですね。おっしゃるように特急はちょっと減るんですけど、普通電車は普通の電車は前よりは増えるんですよ。今度、おっしゃるように、江北に接続がしやすくなります。</p> <p>特急も止まらんとけ、なんで駅は作ってねっていうのはそういう意見もやっぱりあられると思うんですけど今度の鹿島駅はここを拠点にして、何かもっと地域をね、鹿島市とか太良を回遊するようなことをですね、もっと大きな視点で考えてるんです。</p> <p>ここにもホテルはできるんですけど、例えばですけど、この今ですね、鹿島駅の周りに何か空き家があって、その空き家をですね、ホテルにホテルというか民泊施設に変えたりしてます。同じように浜とか古枝とか、ちょっと遠いかもしれないけど、七浦とかですね。例えば、七浦でいったら、「みんなの家」とかですね、その辺のですね民泊のところの鍵を、この鹿島駅とかで預かって、鹿島駅を中心に、どこどこに行ってくださいとかですね、そういう何か周遊的な観光の拠点施設、七浦・太良とか、あの鹿島のゆっくり、この辺を回るときの拠点の施設みたいなイメージですね、今まではただ乗るかもしれなかったけど、新しいような視点でですね、これが今作られてるようになってます。なかなか空き家</p>

	<p>とかも増えてるますので、そこら辺をどうにかしてね。鹿島の街中だったり、沿線沿い、それはもちろん七浦とか、飯田もそうですけど、そこら辺も何かいろんな形で人が集えるような、この沿線沿いに集えるような場所に変えるべきかっていうことをですね、今後、議会とか県議会でもちょっと話をされていくような、一応計画です。</p> <p>僕たちもちょっと驚いたのがですね、特急が今度 4 本減るんですけどそのうちの 1 個はですね、夜の 7 時半に鹿島駅を出発し博多に 8 時半過ぎに着く駅だった電車だったんですよね。そしたら平均年何人乗車してたんですかって聞いたんですよ。そしたらその電車に乗ってたのは、平均 1 人ですよ。平均乗車、乗車数が。やっぱり JR もね、会社なので、6 両編成とかあるときに、1 人しか乗っていない状況だと、それは、やっぱり JR も考えると思います。</p> <p>だから鹿島市ではですね、その特急の切符を買う時に補助が出したりしてなるべくこのカササギを利用してくださいということで、いろんなですね政策を市を中心にですね、今してもらってます。だから利用者を何とかして増やしてね、やっぱり昼とか夜も増やして、何か対策が打てないかっていうのも同時にですね、特急普通電車使ってもらうために鹿島市でも現在いろんなそういった補助を出しながらですね、しっかりやっているところでございます。</p>
七浦 参加者	<p>ありがとう、ありがとうやけど。卵が先か鶏が先かという話みたいだな。乗客が 1 人というけど、便がなかけんから誰も乗らないだろうっていうこともある。ね。だからそれはそう（乗客が）1 人というのにはあまりこだわりじゃない。もっと便があつたらもっとみんな乗る。ないからこういう結果にということをして JR に理解してもらおう。</p>

【二部：意見交換会】

<p>七浦 参加者</p>	<p>道の駅の展望館の話。あれ元々レストランムツゴロウね。30年ぐらい前、30年て言わんとかな。</p> <p>今、道の駅になってるけど、当時はレストランと千菜市と物産館というので物産館も小さな頃。三つの事業は株式会社七浦。今大きな一つになってるけど、やっぱりその当時からレストランはできて、他の千菜市とか物産館で何とかなるな、なってきたという。あれもいろんなそういう歴史があって貴重な建物で、地元の県会議員の大島さんがいろいろ努力して、君たち何とかしろということで、会社を作って、そういう思い出の地でもあるし、先週1週間前田主丸（久留米市たぬしまる）からお客さんが見えになったから、10人ぐらい見えになってから、あそこ（展望館）で見ながら、案内したんだけど、案外感動されててね、わーっ、こういうところあるんですか、こういう景色がいいんですかということで、だからどうしてもあそこをね、残してっていうのは、今の道の駅で買い物されて。それであそこの上でお茶飲んだり休憩してもらって。</p> <p>僕は（道の駅の）社長に言ってるんだけど、お客様の滞在時間を長くすることだけ考えてくれよと言ってるんだよ。来て買い物で買って帰るだけじゃなくて、それこそまた来たくなる。また道の駅鹿島に行きたくなるというようなことをやったら、あそこでね、ゆっくりあそこで、その儲かるとか、もちろん儲からんといかんけど、やっぱりまた来たくなるようなね。あその環境を復元していただきたいなと思ってね。それは地元でできないです。だから市に全ておんぶにだっこじゃなくて、我々地元でも（株）七浦でもいくらか出資して、やるんやったら、総会の中でも我々も提案をしていくけど、そういうことで残すような方向でね。受けぜひ検討していただきたい協力していただきたいと思います。</p>
<p>議員</p>	<p>このお話は私達議会の方にも、一昨日これからの動きについて提案がございました。簡単に申し上げますと、この施設が築35年経過していると。それで昔のその賑わいを知った人と、（全く知らない）その下の方のギャップがございました。それで今市が考えているのは、ここを解決策として民間のアイデアを、まず募集してみようということで、今年度、予算をつけてですよ、民間からアイデアをまず募集すると特に難しいことですが、このサウンディング型市場調査ということで、公の施設ですね。県とか市が持っている施設について、民間の活力をどうしたら賑わいとか何とかで図ることができるかどうかということで市場調査をまずお願いすることになっております。これがR7年5月から9月ぐらいまで。</p> <p>ただ後はですね、2階の厨房施設を中心としたコワーキングスペース、あるいはカフェ、それから干潟の分館、そういったものの利用にできないかということなのね。提案がっておりますので、それをもう具体化していくというふうな話がされております。</p> <p>それで特に厨房部分ということになりますと、飲食となりますので、この辺がどういうスタイルで経営をなされるのか、まだここまでは煮詰まってははいないようでございます。それで今後のスケジュールで申し上げますとですね、今年の5月ぐらいにテナントを募集をするという。そして6月にはもうテナントの業者を決定をする。それから7月以降にですね、展望館の改修工事に着手するというふうなことで、9月以降にね具体的にテナントが決まれば、入居の許可を出すような予定になるということで説明</p>

	<p>を受けております。</p> <p>ずっと数年間ですね、今の現状のままであったこの展望館ですよ。やっとその民間の活力を入れた形で運営が再開をされるというふうな方向には出てきております。</p>
七浦 参加者	<p>さっき（展望館の）雨漏りの物件も言われましたけど、実際雨漏りしていますよね。それとですね、一番下のですよね、トイレ、これの改修をですね、ぜひとも先にやっていただきたいなと思います。</p> <p>そうしないと今の土日のお客さんの数からするとかなりですよ。多分土日見られたり、来られてる方は多分わかられると思うんですけど、車がもういっぱいしてますもんね。その頃は多いもんですから、特にですね、土日になりますと、キャンピングカーとか、こういったものがものすごく停まっているんですよ。多いときには20台ぐらいだと思ってるんですよ。それだけトイレの使用とか、そういうものが非常に多くなっております。他所さんのちょっと道の駅とか見ますと非常にですねトイレが綺麗になって、もう水じゃなくて、お湯が出てるというぐらいのですね、施設もあります。そういうことを踏まえてですね、それを何かお考えいただければと思います。</p> <p>干潟展望館の下のところですよ。</p>
議員	<p>展望館の下の方ですか？展望館の下じゃなくて、両脇のトイレでしょ。展望館の中のトイレはね、あそこは穴場ですね。私はそこにしかいかんとですよ。誰も使わないので。あそこにトイレがあるってことば、あまり知らないんですよ。</p> <p>両脇の、あのトイレの方は確かに多かですよ。ですので、その展望館のトイレをうまく使えば分散できるかなと、あそこ結構よかですよ。誰も来ないし。あと、大きな浄化槽があるので、なかなか変えられないね、浄化槽がね、大きなものが設置されているので、有効な使い方をしないといけないですけど、それと今のトイレを、汚ないと言われてるんですか？</p>
七浦 参加者	<p>汚ないよ。手入れをされているけど、もうだいぶ古いですよね。そこら辺をですね、見てもらえばわかるかなと思います。せっかくですねその展望館の上を（募集）されるのであればですね、それまで含めてしていただきたいなと。</p>
議員	<p>（両脇のトイレは）展望館じゃないですね。トイレは道の駅のトイレを言われてますね。</p>
参加者	<p>下のところをした方がいいんじゃないかなと。せっかく上をされるのであればっていうことで。</p>
議員	<p>いや、展望館のトイレは今のところ使われている方が、あまりおられないですよ。そこ（言われていることは）はよくわかったの。はい。もう1回確かめてからですね</p>

七浦 参加者	<p>展望館の件で、確かにですね、(展望館の) 上、全部ポンてあげた場合には、店舗は2階ですよ。2階を利用するようにした場合には、千葉市の方でいろいろ資材部を置いちゃったものとかね全部とっばらって全部両方とも綺麗にお客さんが入られるような状態での要請をされるんですか？ 今何か、何月かまでにするのか。そこら辺をやっば新たに來てもらうというのと、やっばり綺麗(なところ)に、ゆっくりとなされるような状態を作らないといけないし、それから床とか何かがある程度補修も必要でしょうからそこら辺は十分見た上での決定となるのですか？</p>
議員	<p>その民間のアイデアを募集されているところは、2階の厨房を中心とした運営を、そこを中心に募集するという話になっております。それは私達もこの前説明会の中であったのは一番見晴らしが良い展望休憩コーナー、そこら辺については全くその民間の力を入れないというふうな説明がありますので、飲食が大体中心じゃないかなという受けとめ方で聞いて取りました。それからあとアイデアはどういう形で出されるかですよ。</p>
七浦 参加者	<p>駅舎の件ですね。先ほど他の参加者の方からも言われたように卵が先か、鶏が先かという中で、東部中も生徒たち子供たちは電車通学の方がまだ数名います。</p> <p>その中で、こっちに通う子たちは浜で降りるので、現行は大丈夫だと思うんですけども、例えばから大浦この辺から佐賀方面に通学している子たち、浜で乗り換えて江北で乗り換えて2回乗り換えています。</p> <p>江北で乗り換えてというのは、武雄の方たちは新幹線が通る前までは乗り換えされたので、そこは仕方ないのかなと。ただ同じ県内の学校に通うのに2回も3回も乗り換えをさせてというのは、ちょっと現実的じゃないのかなと。浜で乗り換えをしないでいいような要請をしていただきたいなと思います。</p> <p>自分も元JRの職員でしたので、JRの内情よくわかっています。こっちの在来線を不便にしまうとお客さんは新幹線を利用せざるをえない。なので、どんどん不便していきます今から先どんどん増えていきます。10年間という保証がありましたけれども、利用者がこのままのペースで減っていくと多分なくなります。なのでもう少し何て言うんですかね。特急にばかり目を向けなくて、在来線の普通列車にも目を向けてもらいたいなど。</p> <p>またこれ中学生の話になりますけれども肥前浜駅の下り10時7分の後には13時58分頃までありません。約4時間無いです。中学生電車通学の子たちがいるにも関わらず、本数が少なくてきますので昼頃12時台を1本追加してもらえれば、午前中で授業が終わったときに、子供たちの救済にはなるかなと思います。</p> <p>それともう一つ駅舎の今のこの鹿島駅の造りの話ですけども特急列車がどんどん減っている中でこの公共交通ロータリーが本当に必要なのか。これを一般ロータリーと一緒にして一元化して駐車場を増やした方が、送迎の方たちはもっと利便性が出るんじゃないかと思いました。</p>

議員	<p>ありがとうございます。中学生の乗り換えの件はですね、私達もまた改めてですよ、もう少し勉強してからですね、要請の方をしっかりと、おっしゃるように何回も乗り換えるのはちょっとですね。それは違うだろうっていう話も、しっかりとわかりました。きちんと要請をしています。</p>
七浦 参加者	<p>また、これもまた、会社内の内情なんですけど、地区の方からですね、地元住民からそういう意見が上がってこないって言われるんですよ。</p> <p>ホームページから JR のホームページからご意見のところがあってそっからの意見が上がってきてないと、自分が現職のときにも、こっちが不便になりすぎたのでそういう意見を会社側に伝えてました JR は伝えてましたけれども、地元の方からの意見を。意見は来ないと。いうことですのでちょっとホームページ等を活用していただければと思います。</p>
議員	<p>普通、通学する通勤や通学するときにはですね。ある程度便があるというけど、やっぱり試験が始まったときはもう全然時間帯が変わってきますので、鹿島高校の場合はね、もう勉強する場もないと。非常に困っている。</p> <p>そういう隣の武雄高校はどうかと言えば、たまたま武雄の場合は、駅の横は市役所ですよ。それと武雄高校の横には市民図書館がありますのでそこを使って勉強できるんですけど、鹿島高校の場合はもう本当に試験期間中時間を潰すというか、その試験に向けて翌日勉強して何かする場所がないから非常に困ってるんですよっていうのを、よく子供たちから言われます。だから、そのあたりも頭に入れながらですね、本当にやっていかんと。</p> <p>あの駅舎を改修するときにも、その辺りの意見は出してるんですけど、ちょっとまだまだ具体的には繋がってません。</p>
七浦 参加者	<p>52 億円の金を投資して、鹿島の駅を新しくする。そして、そこを拠点にして、いろいろな展開がなされる所に、私としては来てくれることはありがたいことだと思うんですね。</p> <p>これ生かすことは地域でしょ。</p> <p>そういう中で、博多から特急に乗ったら、博多駅から来た人がいっぱい乗って佐賀駅でドーンと降りて鹿島まで行くとは、それこそ 10 人おるか、おらんかぐらいになったんですねっていうことは、やっぱり佐賀と福岡というのはもう通勤圏だろうと感じがしますね。このように鹿島では少なくなる。</p> <p>しかし、私は実態調査をしてもらいたい。というのは、鹿島から福岡まで 1 時間ですよ。1 時間は通勤圏じゃないかと思うんですよ。どれだけの、今鹿島から博多まで行く通勤される方がおられるのかどうか、より利便性が良くなることになったら、鹿島から博多までも通勤として行かせられる、そのときに、1 時間で着くわけですからわざわざ特急に乗らなくてよかとやもんね。快速で特急と同じ停車駅で今の経済的な特急の停車駅と同じような停車駅で快速を作ったらひょっとしたら、鹿島からでも福岡に通勤されること増えるんじゃないかな。そういう出し方っていうのはやっぱり大事じゃないかな。もう特急がそのうちなくなるでしょう。無くなったときに、まっすぐ快速で博</p>

	<p>多まで行くようなやり方を増やしていけばね。鹿島市ももっと活かせるんじゃないかな。それから今度はわざわざ博多福岡から来られる方が特急じゃのうしても、快速ですると、もっと増えるんじゃないかな。そういう活かし方もあるかもしれないということですね。私は内々思っております。</p>
<p>議員</p>	<p>今おっしゃった快速、それも特急の便がずっと減便になっていくっていう中で、議会の中でも話したりしたんですね執行部に対して先ほど他の参加者の方がおっしゃったように、JR っていうのは、新幹線の利用者を上げるために、こっちの便を減らしてるんですね。どうしても利便性は悪くなってるんですよ。</p> <p>だから、その代わりとして普通電車の本数を増やす。また有明海の沿岸道路を 1 日も早くこっちまで持ってくる。それでも佐賀駅佐賀方面まではもう 20 分ぐらいで着くようになる。それができたらですね、それは太良もそうですし、諫早の方からも要望されてるんですね。だから今、鹿島市としては、一番その沿岸道路の延伸をなんとかして急いでくれと県の方をお願いを今しているところなんですよ。</p> <p>だから、JR に関しては、やっぱり普通電車をもっと便を増やして、今おっしゃったように、何かしらの、二つ星であったりとか、観光列車は通ってますよね。浜があれだけ酒で有名になったから、あそこをこの長崎本線を通るんですよ。だからそのあたりも生かしながら、普通電車ですよ。いろいろ旅ができる、それこそそれがスロートーリズムだろうと思うんですけど、そのあたりも含めて、私達も議会の中で市に対して、県に対してですよ、意見は言っていきますので、もうおっしゃる通りに、もう快速が一番いいです。私もそう思いますそれは。はい。でも、JR はなかなかうんとは言わないですからね。</p>
<p>七浦 参加者</p>	<p>JR はね、それ（快速）に乗るようになると、新幹線に乗らないようになるので。しかし、乗らないようになるよ、博多まで行くのに特急とか快速とかあると、新幹線に乗らんようになるもの。</p> <p>しかし、同じ国土の中で、過疎化の地域も生かせるにどうするかという、これをやっぱり考えていかないと。それはやり方をどうするのか、私はそういう提案をしました。</p> <p>というのはね、七浦におる人たちがね。家族の人が（七浦に）家をもっていたとしても、鹿島に帰って鹿島から、七浦に来るんですよ。確かに鹿島に戻ったら、子供を小学校中学校、中学生も学校が近くやけん便利か、あるいは仕事場として七浦を考えている。住居としては鹿島、やっぱり過疎化になっていくんですよ。そういう中で、我々は七浦において、どういうふうにするかは、やっぱり常に考えないかん問題です。それと同じように、過疎化にならない事を、解消するにはどうやっていいか、新聞では、それこそ佐賀県は素晴らしいところだと、何か風景がよろしい、環境よろしい、人がよろしい、食べ物も素晴らしいって、そういう、いいところがあって、もう新聞にも出てきちゃったね。佐賀県のよさって、まさに鹿島なんか、まず、もってこいのところですよ。で、もっともっと生かすやり方はやっぱり一緒に考えていかなきゃ。</p>

七浦 参加者	<p>ちょっと話題を変えてよかですか。今私、区長会にですね、多分七浦だけじゃなくて市内全域だと思いますけど農林もんなんですけど、七浦は七浦地区山と海の会ですね。国の事業で、中山間じゃない方ですね。あれは市に来て、末端は区長の方で、そのこの完了するようになっております。で、これも5年ごしで切り替えになっております。</p> <p>で、私が一番今危惧しているのは今度は8年度で一つの区切りが終わります9年度に対して、次に申請する農地の面積を出さないわけですよ。</p> <p>ところが、もう高齢化と将来など、後継者がいなかったりですね、いわゆる多分30%から40%は減ると思います。それではですね、要は申請面積が減るということは、国からの交付金が減るといふ、当然そういうふうになるわけですよ。</p> <p>しかし、それではですね、いわゆる河川とか道路の清掃といいますか、いわゆる災害も含めてですけどやっております市はご存知の通り市の予算はほとんどないので、その国の予算をこれを使ってくれと言われて私達の集落はやっております。それが減るといふことは非常にちょっと困るわけですよ。</p> <p>私のお願いとしては、いわゆる民間というか地方の声としてですね、申請面積で数字を出すんじゃなくて、当然面積なり、住民の数なりその農地を活用しようというするためには道路と水路がやっぱり必要です誰かがやっぱそこを管理をしていかないとけない。そういうふうに申請をしなくても当然、今、市では、農地の面積とかですね、あのわかるわけですからそれに合わせて、いわゆる農地面積およびその農家の、そういうのに合わせたその数字で補助金をいただければというのがあります。</p> <p>ただ、個人で手を挙げてというその人の問題ではなく地域に対して補助をもらいたいというのがお願いです。そういう意味では、いわゆる全国似たようなことになってると思いますので、地方議会としても、できればそういう国に対して、地方議会としての鹿島としての声を上げていただきたいと思います。</p>
議員	<p>ちょうどですね、今年になってから古枝地区でもそういうふうな話があって、結局もう荒廃農地が増えていると、そういう分母となる、その対象面積が、どんどん減ってきて、もう交付金が、目減りしていくといふことは、もう目に見えてきちゃうわけですよ。そういう声をいろいろ私が調べてみたところ、鹿島市のその事務局が土地改良区に置いてあるんですよ。</p> <p>それで、市はある程度サポート的に援助をされていますが、ほとんど実質的な事務とか、地元の指導とか支援はですね、土地改良区がされてますもんね。そうなので、もう1回七浦の区長会、あるいは鹿島市全体の区長会、生産組合長会あたりで。その土地改良区では言えないのであれば、正式にですよ、そういった具体的な申し入れをされた方がいいんじゃないかなという気がします。私の方からも一応お伝えしますがこれも、どこの集落でもやっぱり共通ですもんね。中山間地の直接支払いも今年からまた6期がスタートしましたが、全体的にやっぱり2割、27%ぐらい、やっぱり面積減つとですもんね。そういう農地水もイコールなんですよ。うそれからそういう厳しいことは私にも上がっておりますので、機会を捉えて、いろいろな形で話を繋げていきたいと思っております。</p>

七浦 参加者	もちろん土地改良区とも当然そういう方向の話は進めていきますけど、やはり国が決める、いわゆる国会が決める決議のもとで、こういうのができております。そういう意味では、地方議会として、ぜひ声を上げていただきたいと思います。
議員	浜も一緒です。同じようにですね。それはもう生産組合の人たちからも言われます。結局、目減りしてるんですよ。以前よりもね。そう。私ももう20年近く一緒に、区長さん方とその会議には出てますけど、おっしゃる通りで、途中、副議長が言ったように、市がちょっとあんまり立ちそうに入っていないですもんね。もう土地改良区っていうか、そっちの方がやっていますので。私達も議会の中で農業を1次産業に関していろんな質問をしますので、そこの辺り今度取り上げてですね、もうちょっとやりやすい農業従事者の方たちがやりやすいような形そこのあたりもちょっと意見を述べていきたいと思います。
七浦 参加者	さっきから言うように土地改良区と言われますけど、その前に必ず市を通っております。国の交付金というのは県から市町村を通して、その土地改良区でいきます。まっすぐ行ってるわけではないので、やはり土地改良区と話すとはですね、市がと言いますので、私達のためにですね、もう少し声はやっぱり国に向かってあげてください。お願いします。
七浦 参加者	<p>私も農業委員をしてるけど、ため池ね。使わないため池。オオコバ堤ってあるんやけど、その下流にはもう田んぼが何もない。しかし堤がある。これは30年ぐらい前、補修工事されて、今それを使わないから草払いはしてるけど、これの管理をね、今後どうしていくのか。我々の集落だけじゃないと思う。そういう今後利用しないような、ため池を、対処していつて。もし何か事故があったら大変。その辺もぜひ、よろしく願います。</p> <p>もう一点、「海道しるべ」の話、(鹿島市産業活性化施設)「海道しるべ」ですよ。あそこはもったいないなと。だからそこをもっともっと活性化していくようなね。ところがやっぱり地元の製品の販売を今はいくらかやっておられるけど、もう少しそこを改修改造というかな、結構お客さんあそこ立ち寄っておられるんですよ。展望も見晴らしもいいしということで、そこの施設をもう少し、例えば食事ができるようにとか、何かぜひその辺も検討していただきたいなと、以上です</p>
議員	あそこで金を儲けるような活動が何か制限されているという話を(聞いたような)、もう少し調べてみますけど、でも、だいぶ活性化はされているように感じますがね。
七浦参加者	ただ、あそこ加工施設、あそこで研究する研究する施設では、加工施設や結果、それを今度はもう次の段階を考えて、まして、あそこの上が10町以上再生されます。あそこは観光地になってますから。あそこにも立ち寄ってもらいたい。

七浦参加者	<p>ちょっと関連してるんですけど、「海道しるべ」はそこ今若干の農産物加工品が出ております。それはできるようになったっていうのが一つ変わりつつあります。それと、もう予算、何年かすると、よかったよね、その中で大々的なあれはまだちょっと、ただ、私が言いたかったのは、もうそこに出してる。そこに農産品や加工品を出してる人たちの、できるだけ活用しようということで、グループができております。そういうのをもう少し活躍できるように応援をしてあげてください。</p>
議員	<p>1つ言ってよかですか。ちょっと話をしていたんですけど、鹿島高校生が佐賀県知事がされた企画コンテスト（「第9回佐賀さいこう！ 企画甲子園」）で、一番になられて、そのメンバーのメインとなんていうかコーディネーターがですね、岡 颯真（オカ ソウマ）君。</p> <p>彼、（七浦の）飯田からなんですよ。彼がね。ほどよい田舎に鹿島市になった方がいいという。そういう表現をしたですもんね。だから、そんな都会のように、ならんてよいと。ほどよい田舎で鹿島市があつたらっていうふうなことを、高校2年の子が言うんです。そうですからね、私もですね、そんな東京の様にならんてよいと思うけど、本当に自信を持って、ほどよい田舎を作っていけば、これからも、七浦は盛り上がっていくんじゃないかなと。高校2年生の岡颯馬さんに教えていただきましたので若い力も育てられます、ということをご報告申し上げます。（地元の小学校の）先生の教え方、なお良かったです。ありがとうございました。</p>

その他の当日アンケートの内容は鹿島市執行部に情報提供を行い、皆さまのご意見を伝えております。